

在宅ホスピスシンポジウム

「家族の、そして自分の最期の生き方を考える」

特定非営利活動法人 楓の風 理事 野島 あけみ
東京都町田市成瀬が丘2-2-2ワタヤビル3F

(助成対象年度 2012年度後期)
提出年月日：平成25年4月16日

第4回在宅ホスピスシンポジウム「家族の、そして自分の最期の生き方を考える」を終了いたしましたので、資料を添付しご報告させていただきます。

特定非営利活動法人 楓の風は平成19年に訪問看護ステーション「在宅療養支援ステーションかえでの風」を開設し、現在月間約2000件の訪問看護を行っております。また、平成24年4月には医療法人社団 楓の風を設立し、機能強化型の在宅療養支援診療所として訪問診療、往診を開始し、訪問看護と診療所の一体的なサービス提供により、利用者の在宅療養生活を支援させていただいております。特に私たちは、『最期までその人らしく生きられる社会』を目指し、在宅ホスピスケアに力を注ぎ、これまでに約400人の自宅での看取りをご一緒させていただきました。この経験の中で私たちは、人には生まれてくる力と死んでいく力があること、そしてご家族にはその最期を見届ける力が備わっているということを学ばせていただきました。

しかし現状は、一般市民に「在宅療養・在宅死」が浸透していないことや、医療者にも正しく認識されていないことにより、多くの人々が家で最期を迎えたいと望みながらも、病院や施設で最期を迎えています。私たちは「最期まで家で過ごす」という選択が可能であることを広く地域住民に知っていただき、ご自身で最期の人生の生き方を選択していただきたいと考え、平成21年より毎年、在宅ホスピス普及のための市民向けシンポジウムを開催しております。

【シンポジウムの広報活動について】

本シンポジウムのターゲットである「市民」にシンポジウム開催を伝える方法として、医療・介護従事者の方々を通じての広報、開催案内の新聞折り込み・ポスティング、ホームページへの掲載、社会福祉協議会や自治会等への広報協力をお願いしました。

【シンポジウムの内容について】

○基調講演：「最高の一日、最良の最期」（ふじ内科クリニック 院長 内藤いづみ先生）

内藤先生の在宅診療の体験談をお話いただきました。「命の声を聞くこと、自分で考え選び、その答えを愛することが大切。」という内藤先生のお話しに、参加者からは、お話が心に響いた、素晴らしかった、他の人にも伝えたいという声を頂きました。

○セッション：家族や自分の最期の生き方について語り合う『諦めてきた想いを叶えたい』

お父様を看取られた娘さんとスタッフ参加の朗読劇により、お父様の最期の日々の様子を再現しました。その後、フロアからの質問に答え、在宅生活の良かったこと、大変だったこと、家族としてどう感じたかなどを話し合いました。

参加者からは、朗読劇がわかりやすく家族の想いも伝わってきた、という感想や、在宅で訪問診療、訪問看護、その他多様なサポートを受けながら療養生活を送ることができることを、はじめて知ったという声もありました。

【課題について】

本シンポジウムは、市民参加を目的していますが、残念ながら、実際の参加者は例年同

様医療・介護従事者を中心でした。しかしながら参加していただいた市民の方々からは、「家族や自分の最期の生き方を考える」きっかけになったという感想がありました。これらを統合すると、市民参加の達成のためには、まず参加したくなる内容、形態、参加しやすい場所、日程と、広く市民に伝わる広報の方法を検討する必要があるといえます。

私たちは今後も「その人らしく最期まで家で生きる」社会を目指し、市民の方々に向けメッセージを送り続けたいと思っております。

シンポジウムの開催と、今後の課題についてご報告させていただきました。
このたびの助成に心より感謝申し上げますとともに、勇美記念財団様のご発展をお祈り申し上げます。

公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団の助成による

第4回 町田在宅ホスピスシンポジウム

在宅医療助成勇美記念財団助成事業予定

家族の そして自分の最期の 生き方を考える

■ 基調講演「最高の一日、最良の最期」

ふじ内科クリニック 院長 内藤 いづみ 先生

昭和 61 年から 7 年間、英国ホスピスで研修。

平成 7 年、甲府市にふじ内科クリニックを開業し在宅ホスピスを開始。

日本ホスピス・在宅ケア研究会の活動として講演やワークショップを多数開催。

著書に「あした野原に出てみよう-在宅ホスピス医のノートから-」

「最高に幸せな生き方 死の迎え方」など多数。

■ 家族や自分の最期の生き方について語り合う

家でお父様を看取られた家族の物語をご覧いただき、
会場の皆さんで語り合います。

出演者:ご家族、訪問看護師、医師、
ケアマネージャー、デイサービススタッフ

■日時：2013年2月24日（日）13：30～17：00（開場13：15～）

■会場：町田市文化交流センター 6階ホール（町田市原町田4-1-14 プラザ町田ビル）

■参加費 500円

■会場までのアクセス

JR 横浜線町田駅ターミナル口直結

■お申し込み

裏面の申込書に記載の上 FAXにてお申し込み下さい。

FAXがない方は直接お電話でお申し込み下さい。



主催 特定非営利活動法人 楓の風 <http://www.kaedenokaze.com/>

在宅ホスピス看護師募集中

お問い合わせ 野島 電話 042-788-0755 E-mail: nojima-kaede@pro.odn.ne.jp

番号をお間違えのないようご注意ください

■ FAX 042-788-1233 ■

◇◆◇◆第4回 町田在宅ホスピスシンポジウム ◆◆◆◇

～家族の、そして自分の最期の生き方を考える～

参加申込書

代表者お名前	
参加者名・人数合計	名
代表者ご住所	
ご連絡先電話番号	
ご所属※医療介護従事者の方のみご記入をお願いいたします。	
【主催者へ何かメッセージがございましたらご自由にお書き下さい】	

◇◆◇個人情報取り扱いについて◇◆◇

本シンポジウムへのお申し込みに際して御記入いただいたお名前等の個人情報は、
本シンポジウム参加確認のご連絡のみに利用させていただきます。

主催 特定非営利活動法人楓の風
在宅医療助成勇美記念財団助成事業予定

<http://www.kaedenokaze.com/>